

小金井一里塚、下石橋一里塚（石橋消防署の南側付近）、下古山一里塚（下古山交差点南側付近）の3箇所がありました。現存しているものは、小金井一里塚（東西両塚現存・国指定史跡）と下石橋一里塚（西塚のみ）があります。

高松市

国内交流

交流のはじまりとこれまで

香川県国分寺町（現高松市）

香川県のほぼ中央に位置し、面積約26km²、人口約24千人と旧国分寺町（面積約20km²、人口約17千人）と似た規模の町でした。特産品は松、ピオーネ（ぶどう）、カンカン石（讃岐石）などで、特に松は全国屈指の盆栽の産地としても有名です。くしくも下野市誕生と同じ平成18年1月10日に高松市に編入合併しました。

高松市との交流事業は、聖武天皇の勅旨により建立された国分寺にゆかりのある自治体が集まり交流を深める「全国国分寺サミット」が、平成13年4月に栃木県国分寺町にて開催されたことを機に、香川県国分寺町と栃木県国分寺町との地域間交流が始まり、平成17年2月に、友好親善都市の提携を結びました。両町とも合併により高松市、下野市と町名は変わりましたが、今までに培われた友好の輪を大切にするため、合併後も市・住民レベルでの教育・文化・スポーツ等さまざまな交流を続けています。

また、平成22年度には「下野市国内交流協会」が発足し、様々な交流事業を協会が主体となって実施しています。

小学生親善交流事業 【小学生訪問事業】

今年で10回目を迎えるこの事業は、市内小学校の児童が団員として香川県高松市を訪れ、高松市の小学生との交流や施設・史跡を見学し、他地方の風土を理解するとともに、自分たちの郷土への愛着を高めることを目的として開催しています。

今年度は市内小学校6校から23名が参加し、両市の小学生同士による「市の紹介」・「レクレーション」・「地引網体験」・「海水浴」等の交流を通して遠く離れた外国に「新しい友情」を育みました。また、今年度は大西高松市長を表敬訪問し、



これからの両市の絆をさらに深めることを確認しました。

小学生親善交流事業 【小学生受入事業】

日程：8月7日～9日
内容：小学生交流事業（高松市国分寺南・北部小学生とのレクレーション交流、地引網体験、海水浴）
・史跡名勝見学（国分寺跡資料館、瀬戸大橋記念公園、善通寺、金毘羅宮、栗林公園、屋島水族館）
・高松市長表敬訪問



8月21日に高松市讃岐国分寺小学生交流団20名が下野市を訪問しました。ゆうゆう館で行われた歓迎会では、下野市国内交流協会の女性役員の方々により、地元で採れた野菜を使ったカレーライス、かんぴょうの卵とじ汁、サラダ、フルーツが振る舞われました。また、その後の高松市小学生と下野市小学生との交流会では、下野薬師寺ボランティアの会の協力により「下野かるた取り」を行い交流を深めました。その後、風土記の丘資料館や下野薬師寺歴史館、道の駅などを見学しました。

